**幼児礼拝１月①**

真の父母様生涯路程①「真のお父様の誕生と少年時代」

きょうのお話は「真のお父様の誕生と少年時代」です。

真のお父様は、韓国の平安北道、定州という村に誕生されました。

そこは、山があり、川もあり、たくさんの動物が棲んでいる、自然がとても美しいところでした。

真のお父様がお生まれになる３年前から、家の周りには、不思議なことが起こっていました。金鶏（きんけい）が家の庭先に飛んできては鳴いていたというのです。

金鶏（きんけい）は、良い知らせをもってくるという言い伝えがあるので、家の人は何か良いことが起こるに違いない、と真のお父様の誕生を心から待っていました。

そのような村の人々の大きな期待の中で、真のお父様はお生まれになりました。

とても元気な男の子で、村のみんなも大喜びでした。真のお父様は村の人にとても愛されながらすくすくと育ちました。

真のお父様は、子供時代、自然の中からいろいろなことを学ばれました。

真のお父様は、好奇心旺盛で、たくさんの木に登りました。

近くの木にカササギが巣を作ると、カササギと友だちになりたくて、毎日のように見に行きました。

また、真のお父様は、よく川でウナギ捕りをしていました。

ウナギは広い所ではなく、穴に隠れていました。頭を穴に押し込んでも、長い体を全部入れることができず、尻尾がちょこっと出ていました。

その尻尾を口で噛んで捕まえたのです。夏休みには、40匹以上ウナギを捕まえて、お客様や、村の人々に分けてあげました。

真のお父様は遊びだけでなく、勉強も一生懸命にされました。

お父様は、勉強も遊びも心に決めたら最後まで頑張りました。

皆さんも、真のお父様のように、人や自然を愛し、神様が与えて下さった環境から沢山のことを学び、大きく成長していきましょう！